

ちなみに、

こんにちは、きみちゃんです。田皆字では環境省よりグリーンワーカー事業を受託し、今後、字で沖泊海浜公園の海岸清掃を担当することになりました。今後は沖泊を中心に毎月ビーチクリーンイベントを開催予定です。いろんな方にご参加いただけると嬉しいです。詳細はFacebookにて!



漂着油の回収では油を踏んでしまっても大丈夫のようにビニール袋を履いて作業にあたりました

今、沖永良部の海岸に漂着しているコールドール。これは一月六日に東シナ海の上海沖で貨物船と衝突し、一月四日に奄美大島沖で沈没したタンカーの燃料とみられています。今回の事故由来と思われる油状物が日本で最初に確認されたのは一月二八日、トカラ列島の宝島で、二月一日には奄美大島でも油状物の漂着が確認され、えらぶでは五日にワンジョービーチと国頭と西原の海岸で、六日には出花と伊延港、内喜名、そして沖泊漁港で、八日には沖泊海岸でも漂着が確認されました。

二月十七日にはもともと田皆字が環境省より受託したグリーンワーカー事業でビーチクリーンを予定していたのですが、同日に知名町役場、県の職員のみなさん、地域のみなさんと協力して沖泊海岸の油状物を回収することになりました。今井町長のお声かけにより二〇名もの方々にご参加いただき、漂着していた大きな油状物は無事に回収され、大型のごみも入口近辺まで集めていただき、非常に助かりました。ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。ありがとうございます!

午後には子どもたちも合流して、環境省のレンジャーさんにご指導いただきながら取り残した油状物の回収とごみ拾いを実施し、漁港寄りの浜はとてもきれいになりました。今後も田皆の子どもたちとその保護者、字の方々を中心にビーチクリーンを実施し、まずは沖泊海岸全体をきれいにしたいと思っています。

来年度にはへびの放課後のまなび場の中で、海洋ごみを通して世界と出会う「世界一周ごみの旅」という学習プログラムをスタートします。地域のみなさんと環境省の協力を得て、子どもたちといっしょにビーチクリーンをしなから、海洋ごみの調査を行い、ごみをただのごみで終わらせずに教育という価値づけをすることで、その経験を子どもたちの宝物に変えて、きれいな海を守ってほしいなと思います。来年度は毎月ビーチクリーンを実施する予定なので、いろんな方にご参加いただけたらうれしいです。



1_こんなに大きな漂着油も…。2_3_今井町長の声かけで120名の方が漂着油回収に参加してくださいました。ありがとうございました! 4_清掃後、ごみ収集前に家庭ごみを捨てるとカラスに漁られてこんなことに…。涙 5_子どもたちは海洋ごみの実態をエクセルで集計中!